



きいんぐみだより

2025年度 12月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

寒さを感じられるようになってきました。子どもは風の子とよく言いますが、その言葉の通り寒い冬でも戸外で元気いっぱいに遊んでいます。また、あそぼう会が近くなってきたことで、わくわくしている子どもたちです。楽しむことを大切に取り組みたいと思います。



上手に畳めるよ！

寒くなってきて上着を着用する日が増えてきました。戸外から帰ってくると、脱いだ上着を畳んでみようとする姿が見られます。最初は裏返しになった袖がうまく戻らなかったり、チャックをかけるのが難しかったり苦戦すること多かった子どもたち。友だち同士、「手伝おうか？」と自然と協力し合い、自分たちで上着の始末ができるようになってきました。これからも、子どもたちが自分でできることを増やし、自信をつけていってほしいと思います。

縄跳び挑戦中。

戸外遊びでは縄跳びに挑戦する子が増えてきました。最初は前跳びを一回跳ぶのも苦戦していた子どもたちでしたが、コツをつかんできたようで少しずつ連続で跳べる子が増えてきました。また、後ろ跳び、片足跳び、走り跳びなどさまざまな跳び方に挑戦しています。何回跳べたかは保育者が数えることもあります。友だち同士で数えあうこともあります。記録を更新するとみんなで拍手をしてお祝いする姿がとても微笑ましいです。寒い冬ですが、今後もたくさん動いて元気な体を作っていきます。

お掃除当番

毎日のお当番活動としてテーブル拭きをしてもらっていましたが、子どもたちから保育室の掃除もお当番さんがやってみたいという意見が出てきたので、食後の掃除を手伝ってもらうことにしました。食べ終わった後に椅子をテーブルにあげ、ゴミ袋を結んで捨てられます。また、保育室を自分たちで掃除するようになってから、自分の食べこぼしに気が付き拾って始末する姿が増えてきました。園庭遊びでもほうきを持ち出して、たたきを綺麗にはいてくれます。なんでも遊びに変えてしまう子どもたちには驚かされます。

大きなキリン？

先日、園で使い終わった玩具のカatalogを子どもたちの自由工作の材料として提供しました。最初はカatalogを眺めて知っているキャラクターや玩具を伝えあう様子が見られましたが、次第に「紙飛行機を作ろう」「ハートを折りたい」と遊び始めました。以前、そう組はお部屋の中で動物園ごっこをしているのを思い出した子が「私たちもキリンさん作ろうよ！」と言い始めると大賛成の子どもたち。みんなで紙を切って、貼って大きなキリンを作りました。今後も子どもたちが自由な発想で遊べるように環境を整えていきます。

